【２０１１年１２月版】

集じん機

V-0622A

取扱説明書

本取扱説明書に出てくる重要警告事項の部分は、製品を使用する前に注意深くお読みいただき十分ご理解ください。

本取扱説明書中の画像やイラストはイメージであり、実際の機械と異なる場合があります。

CONSEC 株式会社コンセック

はじめに

このたびは集じん機Ｖ−０６２２Ａをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本機を効率良く安全にお使いいただくため、ご使用前に本書をよくお読みいただき、運転方法、点検・保守などについて十分ご理解いただいた上で、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
尚、弊社では、「危険」「警告」「注意」及び「参考」の各事項について次のような表示を使用しており、それぞれの定義は以下の通りです。

危険：人身事故防止用

遵守しないと人身事故が発生し、場合によっては死亡・重大な後遺症の可能性がある。

警告：人身事故防止用

遵守しないと人身事故が発生し、創傷・火傷の可能性がある。

注意：製品自体の損傷防止用

遵守しないと製品自体に損傷を与える可能性がある。

参考：留意事項

操作・保守において知っておくと得な製品の性能、誤りやすいミスに関する事項。

も　く　じ

ページ

１．安全にお使いいただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．各部の名称と標準付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
３．主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
４．運転前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
５．運転の開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
６．運転の終了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
７．日常の点検・保守・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
８．故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
９．アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

おことわり

性能の向上、改善のため、操作方法や仕様などの記載事項が予告なしに変更になることがありますのでご了承ください。

1 安全にお使いいただくために

機械の性能を十分に発揮させるために、また安全にご使用いただくために、ご使用の前に下記の事項をよくお読みいただき、十分なご理解と遵守の上でご使用ください。

⚠ 危険：感電・爆発などの重大事故を避けるために

●作業は操作が容易なきちんとした服装で行ってください。
●粉塵爆発の恐れがある金属粉、樹脂粉、石炭、カーボン、コーンスターチなどやガソリン、灯油、シンナー等の溶剤など引火の恐れのある物質の吸引は絶対に行わないでください。また、ガソリン、灯油、シンナー等の溶剤など引火の恐れのある物質のそばで使用しないでください。
●漏電による感電事故をさけるため、また静電気帯電防止のため必ずアースを接続してご使用ください。
●本機使用中に異音や異臭など、異常な気配を感じた場合は直ぐにスイッチをオフし、使用を中止してください。
●改造はしないでください。故障の原因となるばかりか危険です。
●本機使用後は必ずタンク内の汚水や回収物、タンク底部に溜まった汚泥等を排出または投棄し、清浄な状態にしてください。これらがタンク内に残ったまま放置すると、条件によっては爆発性或いは燃焼性のガスが発生し、爆発事故を起こす可能性があります。
●濡れた手や身体で本機の操作や電源への接続を行わないでください。
●使用電源は200V3相50または60Hzで、ランニング最大25A、起動45Aの容量が必要です。十分な容量を有する電源でご使用ください。
●本機は屋内仕様になっています。雨水に濡れないようにしてください。
●本機に水や油等が掛からないようにしてください。万一掛かってしまった場合は、乾いた布などで良く拭き、十分に乾燥させてください。
●電源コードを延長する場合は、最寄の弊社営業所にご相談ください。
●電源コードは必ずのばして使用してください。
●本機を保管する際は、必ず本体後輪ストッパーを掛け、不意な移動を防止してください。
●使用中に停電した場合には、電源スイッチを必ずオフしてください。
●点検・保守を行う時は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
●運転中及び停止後しばらくの間は、巻き込みや火傷の恐れがあるので、本体のブロアー、モーター、排気筒、安全弁、吸込口等に手等を近づけないでください。

⚠ 危険：健康への影響を避ける為に

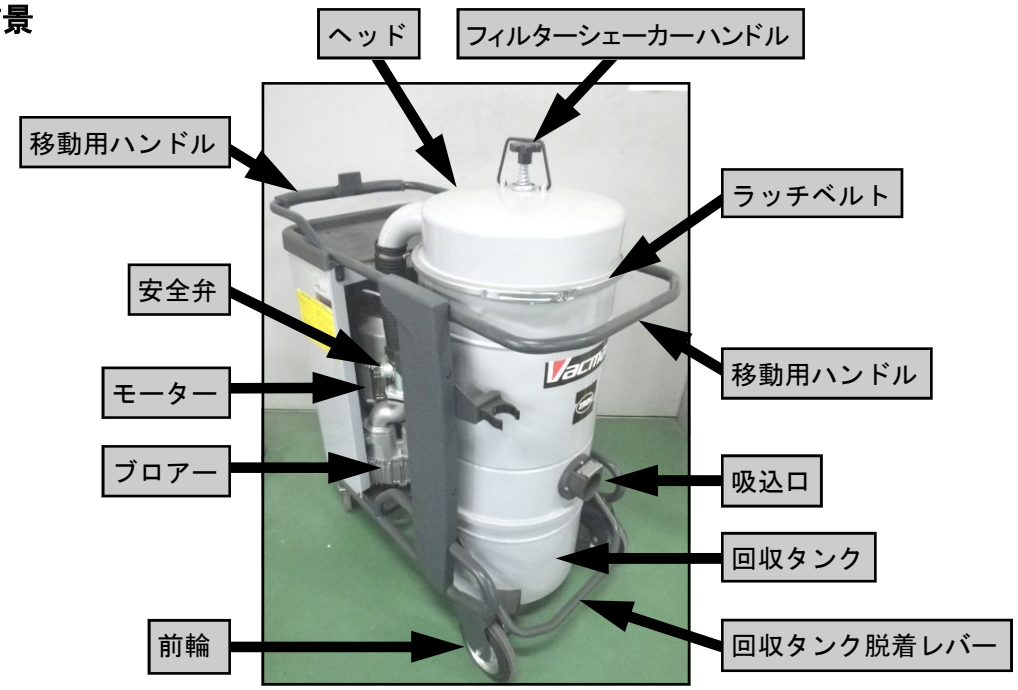
●本機でアスベスト等の危険粉塵の回収は行わないでください。
●本機使用後は必ず回収タンク内の汚水や回収物、タンク底部に溜まった汚泥等を排出または投棄し、清浄な状態にしてください。これらがタンク内等に残ったまま放置すると、条件によっては微生物や菌が発生・繁殖し、悪臭の原因となるばかりでなく、その状態で本機を使用する事でこれらを飛散させ作業者のみならず周辺に健康被害を及ぼす可能性があります。

注意：機械の故障を防ぐために

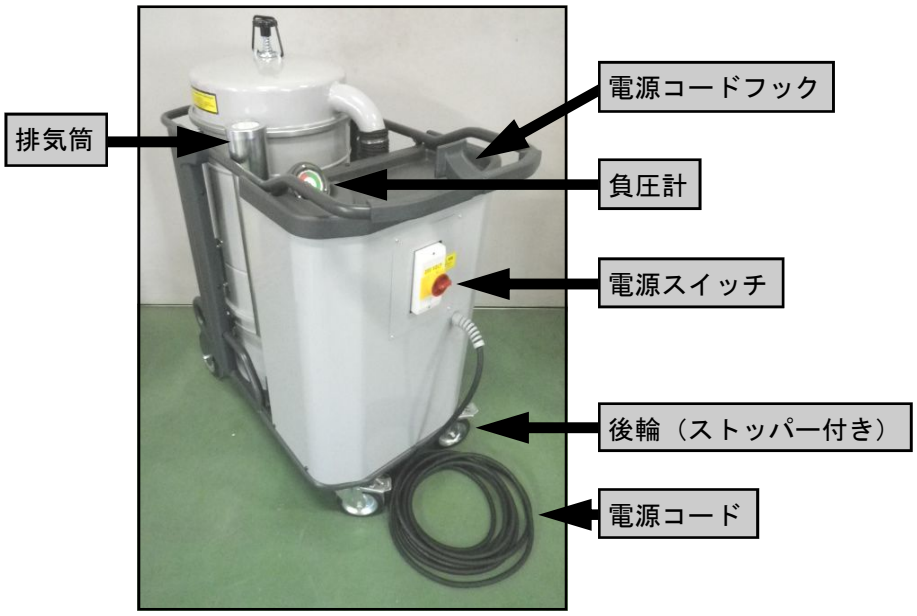
●電源スイッチのオン・オフを頻繁に行わないでください。スイッチ等の故障原因となります。
●吸引中、ホースやインテークチューブ等のアタッチメント（オプション）内に回収物が詰まった場合、すぐに作業を中断し詰まりを解消させてください。
●必ず水平で風通しの良い場所でご使用ください。
●排気筒の上は1.5m以上のスペースを空けてご使用ください。
●電源コードやホースを引っ張ったり、踏んだり、折り曲げたりしないでください。
●フィルターは常にきれいな状態で使用してください。
フィルターが目詰まりしたまま本機の使用を続けると吸引力が低下し、作業効率を低下さるだけでなく機械の故障原因となります。
●周囲温度が40℃を超える場所では使用しないでください。
●液体は直接本体に回収せず、別売りのトランスファータンクに回収してください。

2 各部の名称と標準付属品

2-A　前景



2-B　後景



2-C　標準付属品

異径管・・・・・・・・・・１本（φ70－φ７５）
フィルター・・・・・・・・１個（本体組み込み）

3 主な仕様

3-A　主な仕様

Ｖ－０６２２Ａ		
電　　源		２００V3相、５０／６０Hz
モーター	出　力　　kW	５．５／６．３
	極　数	２
	起動方式	直入れ
ランニングアンペア　A		２５（最大）
真空圧　　kPa（mmAq）		３９．３／４３．２（４，０００／４，４００）
風　　量　　m^3／min		７／８
フィルター	材　　質	星形、特殊ろ布
	面　　積　　m^2	１．９５
	チリ落とし機構	手動
回収タンク容量　　L		４９
接続ホース口径　　mm		φ７０
電源コード長　　m		９
寸法	全　　長　　mm	１，１４０
	全　　幅　　mm	６３０
	全　　高　　mm	１，２４０
重　　量　　kg		１４７

性能の向上、改善のため、操作方法や仕様などの記載事項が予告なしに変更になることがありますのでご了承ください。

4 運転前の準備

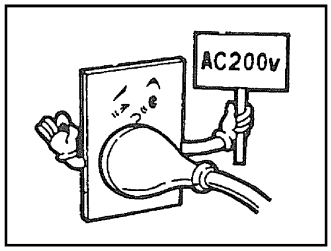
4-A　電源の接続と回転方向の確認

１．回収タンク内に回収物が残っていない事を確認してください。
回収物が残っている場合は回収物の投棄を行ってから運転を開始してください。
回収物の投棄方法は11ページ「6-B　回収物の投棄」を参照してください。

２．電源スイッチがオフ(Oの位置)になっている事を確認してください。

３．200V3相50または60Hz、ランニング25A、起動容量45A以上の電源コンセントに電源プラグを差し込んでください。

⚠ 危険：濡れた手や体で機械の操作や電源への接続はしないでください。

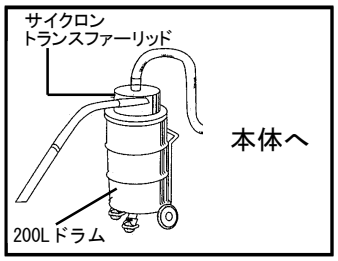


４．電源スイッチをオン(Ｉの位置)し、本機を始動させ、1～2秒後にスイッチをオフしてください。
モーターが惰性で回転している間に、吸込口に手をかざし、本体が空気を吸い込んでいる事を確認してください。

５．吸込口から風が吹き出している場合は、回転方向が逆ですので、専門業者に依頼し正しく配線を接続しなおしてください。

注意：逆回転のまま運転を続けると機械故障の原因となります。

4-B　吸塵作業の場合



１．ヘッドを固定しているラッチベルトのラッチを開け、バンドを本機下方にずらしてください。

注意：バンドのラッチを操作する場合は、手等を挟まないよう注意してください。

２．ヘッドを少し持ち上げフィルターが取り付けられているか確認してください。

３．フィルターが取り付けられていない場合は最寄りの弊社営業所までご用命ください。

注意：フィルターを付けずに吸塵を行うと粉塵がブロア内に入り故障の原因となります。

４．ヘッドを元に戻し、ラッチベルトをヘッドと本体の合わせ面に合わせてラッチで固定してください。

５．異径管を本体吸込口に接続してください。

６．使用現場に合わせてホースやインテークチューブ等のアタッチメント（オプション）を本体に接続してください。

７．回収量が本機の回収タンクでは収まり切れない場合や、多量の粉塵を回収する場合は、200Lドラムなどの設置（オプション）をお薦めします。
なお、トランスファーリッドは大粒子用または微粒子用サイクロントランスファーリッドをご使用ください。

4-C　液体を吸引する場合

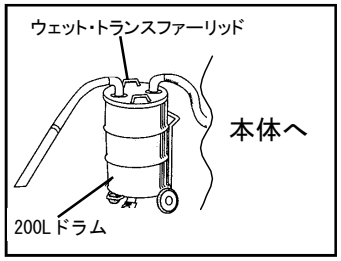
１．ヘッドを固定しているラッチベルトのラッチを開け、バンドを本機下方にずらしてください。

注意：バンドのラッチを操作する場合は、手等を挟まないよう注意してください。

２．ヘッドを少し持ち上げフィルターが取り付けられているか確認してください。

３．フィルターが取り付けられていない場合は最寄りの弊社営業所までご用命ください。

注意：フィルターを付けずに液体を吸引すると異物の吸引による故障の原因となりますので、液体を吸引する場合でも異物の吸引によるブロアの損傷防止の為、本体のフィルターは必ず取り付けてください。。



４．ヘッドを元に戻し、ラッチベルトをヘッドと本体の合わせ面に合わせてラッチで固定してください。

５．本機に直接液体を吸引することが出来ませんので、ドラム缶（オプション）などの回収タンクをご用意ください。
なお、トランスファーリッドはウェット・トランスファーリッド（オプション）をご使用ください。

６．使用現場に合わせてホースやインテークチューブ等のアタッチメント（オプション）を本体に接続してください。

注意：
●液体を吸引する場合は絶対に本体タンクに液体が浸入しないよう注意してください。
ブロア内に液体が浸入すると故障の原因となります。
●液体を回収する場合は必ず自動吸液停止装置付きのトランスファーリッドを使用してください。
●工作油、潤滑油、絶縁油など油類を吸引する場合、耐油性のホースをご使用ください。

5 運転の開始

5-A　運転の開始

１．電源スイッチがオフになっていることを確認の上、本機の電源プラグを電源コンセントに接続してください。

２．電源スイッチをオンにすると、自動的にモーターが作動し、回収が可能になります。

注意：
●全閉状態での起動は行わないでください。
●モーターの回転が高速に安定するまで回収作業は始めないでください。

３．バキュームホース先端に取り付けたアタッチメントの吸込口を回収物に向けて操作し、回収を行ってください。

注意：運転中は絶えず負圧計の針がレッドゾーンに入っていないか確認してください。レッドゾーンに入ったまま運転を続けると本機の故障原因となります。この状態になったら直ちに電源スイッチをオフしモーターを停止させ9ページ「5-B　回収の限界」を参照し、負圧計の針がグリーンゾーンになるようにしてください。

参考：吸引された粉塵等は回収タンクまたはドラム缶（オプション）などの回収タンク内に回収され、フィルターによって濾過された清浄な空気のみが本機排気口より排出されます。

5-B　回収の限界

１．回収タンクが満杯になったり、フィルターが目詰まりすると吸引力が低下します。また負圧計の針がレッドゾーンに入った場合も直ぐに電源スイッチをオフしてモーターを停止させてください。
また液体回収時にトランスファーリッドの自動吸液停止装置が作動し、吸引しなくなった場合も直ぐに電源スイッチをオフしてモーターを停止させてください。

注意：

●吸引力が低下したり、吸引しない状態でモーターの作動を続けると本機の故障原因となります。この状態になったら直ちに電源スイッチをオフしモーターを停止させてください。

●安全弁が働いている状態やホースが詰まった状態で機械を停止すると、吸込口から回収物をはき出す場合があります。吸込口を安全な場所に向けてから電源スイッチをオフしてモーターを停止させてください。

参考：あらかじめバケツ等の容器を用意し、吸込口を容器に向けてから電源スイッチをオフする事を推奨します。

２．11ページ「6-B　回収物の投棄」を参照し回収物の投棄、或いは12ページ「7-A　フィルターの清掃・点検」を参照しフィルターの清掃を行ってください。

３．本機を運転し、負圧計の針がグリーンゾーンに入っているか確認してください。もしレッドゾーンに入っている場合にはフィルターの清掃等が十分でないか、ホース等が詰まっている可能性がありますので、それらの詰まりを取り除いてください。

6 運転の終了

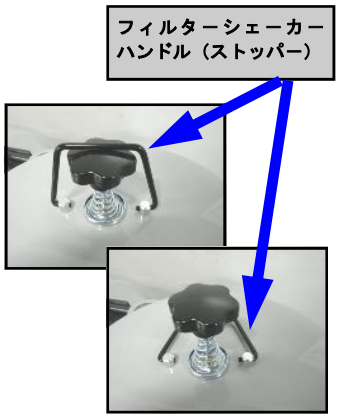
6-A　運転の終了

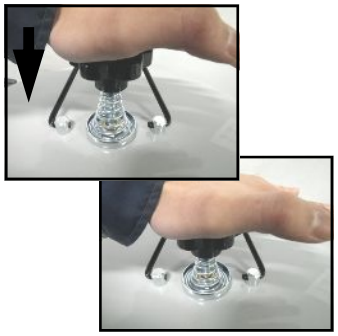
１．電源スイッチをオフしモーターを停止させ、本機の電源プラグを電源コンセントから引き抜いてください。

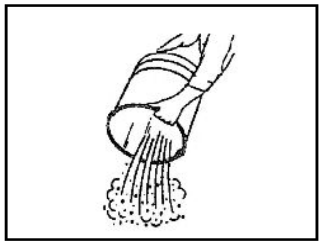
２．各アタッチメント・バキュームホースを取り外し、ホース取付口のロックを下に押してロックを解除しながら異径管を取り外してください。

３．11ページ「6-B　回収物の投棄」を参照し、回収物の投棄を行ってください。

6-B　回収物の投棄







１．ヘッドの上面にあるフィルターシェーカーハンドルのストッパーを外し、シェーカーハンドルを上下に動かし、フィルターに付着した粉塵を落としてください。

２．シェーキング後1分ほど経ってから回収タンクの脱着レバーをゆっくり上に持ち上げ回収タンクを接地させてください。

注意：シェーキング後すぐに回収タンクを開けると回収タンク内に浮遊した粉塵が舞い、周辺を汚してしまう恐れがあります。
本機への回収タンク着脱の際に回収タンクの脱着レバーを上下させる場合は、手等を挟まないよう脱着レバーをしっかり持ってゆっくり行ってください。

３．回収タンクの脱着レバーを本機前方に引き、回収タンクを本機から引き出してください。

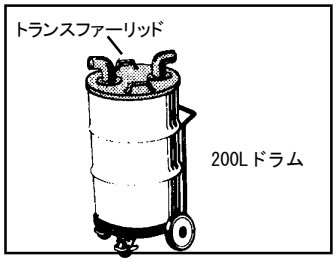
４．回収タンクを傾け、回収物を投棄してください。

５．回収タンクを本機から外した逆の手順で、回収タンクにしっかり取り付けてください。

注意：回収タンクを変形させないでください。変形すると正しく取り付ける事が出来なくなり、エアリークによる吸引力低下などの原因になります。

６．ドラム缶（オプション）などの回収タンクを使用している場合は、ドラム缶からトランスファーリッド等を降ろし、ドラム缶を傾けて回収物を投棄してください。

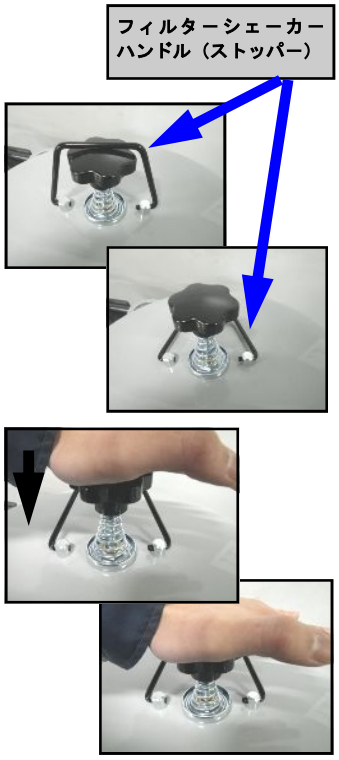
７．トランスファーリッド等を外した逆の手順で、ドラム缶にしっかり取り付けてください。



7 日常の点検・保守

点検・保守を行う場合は、電源プラグを電源コンセントから外した状態で行ってください。

7-A　フィルターの清掃・点検



常に効率の良い吸引を行うため、本機使用後は毎回フィルターの清掃を行ってください。清掃が終わったらフィルターやガスケットに破れ等がないか目視にて点検を行ってください。

注意：フィルターが目詰まりしたりフィルターやガスケットが破れたまま本機の使用を続けると吸引力が低下し、作業効率を低下させるだけでなく故障の原因となります。

【フィルターの清掃】
ヘッドの上面にあるフィルターシェーカーハンドルのストッパーを外し、シェーカーハンドルを上下に動かし、フィルターに付着した粉塵を落としてください。

【フィルターやガスケットの点検】

１．ヘッドを固定しているバンドのラッチを開け、バンドを本機下方にずらしてください。

注意：バンドのラッチを操作する場合は、手等を挟まないよう注意してください。

参考：バンドを本機下方にずらす際に、バンドと排気筒が干渉する事がありますが、排気筒を軽く横に動かしてからバンドを本機下方にずらしてください。

注意：運転直後は排気筒が高温になっていますので、十分冷ましてから排気筒に触れてください。

３．ヘッドに接続されているホースのホースバンドを工具を使用して緩めてください。

４．ホースをしっかり押さえながら、ヘッドを左右に動かしてホースからヘッドを抜いてください。

注意：ホースを取り外した状態での運転は絶対に行わないでください。ホース取り外し中はホースに異物が入らない様注意してください。
異物が混入すると、ブロアを破損させます。

５．ヘッドの縁を持ち上げ、フィルターと一緒にゆっくり静かに引き抜いてください。

６．フィルターやガスケットに破れや損傷が無いか、フィルターが目詰まりしていないか点検してください。

７．フィルターやガスケットに異常がある場合は最寄りの弊社営業所にこれらの交換をご用命ください。
フィルターが目詰まりしている場合は、別の真空掃除機等で清掃してください。

注意：フィルターやガスケットに異常が有る場合は、機械の使用を中止し交換を行ってください。
異常が有る状態での使用は故障の原因となります。

８．上記と逆の手順でヘッドを元の状態に戻し、固定してください。

7-B　その他

・ホースや各部に使用されているシール類のゴム製品は劣化や消耗する部品ですので、適時の交換が必要となります。

・フィルターは消耗品ですので、損傷や目詰まりを起こした場合は適時の交換が必要となります。

・本機は、通常使用においてグリスアップ等の保守は必要ありませんが、モーター及びブロアに使用されているベアリングは定期的な交換が必要ですので、連続使用の場合は1.5年、断続使用の場合は2年を目安に、同ベアリングの交換を最寄りの弊社営業所にご用命ください。

8 故障かなと思ったら

本機に異常が見られた時は、次の点をお調べください。それでも異常がある場合にはお買い求めの販売店、もしくは最寄りの弊社営業所までご相談ください。

こんなときは	考えられる原因	その対策
スイッチを入れても動かない	電源側のブレーカーが落ちている	ブレーカーを入れる
	電源コードが接続されていない	電源コードを電源に接続する
	電源コードの断線	点検・修理をご用命ください
運転中、突然スイッチが切れる	使用電源の容量不足	十分な容量のある電源を使用してください(注1)
	ホースやフィルターが詰まり、過負荷になった	ホースやフィルターの詰まりを除去してください(注1)
	モーターの故障	点検・修理をご用命ください
安全弁から異音	安全弁が働いている	ホースやフィルターが詰まると、安全弁が開きます。ホースやフィルターの詰まりを除去してください
吸引力が弱い 吸引しない	フィルターの詰まり	フィルターの清掃する
	ホースやアタッチメントの詰まり	ホースやアタッチメントを外し、詰まったものを取り除く
	ホースの切れ	ホースを交換する
	回収タンクが一杯になっている	回収物を投棄する
	回収タンクが正しく固定されていない	回収タンクを正しく固定する
	ヘッドが回収タンクに正しく固定されていない	ヘッドを回収タンクに正しく固定する
ブロアーやモーターから異音がする	ブロアやモーターの故障	点検・修理をご用命ください
排気口から粉塵が出る	フィルターが外れている	フィルターを正しく取り付けてください(注2)
	フィルターが破損している	フィルターを交換してください(注2)
	細かい粉塵を吸引している	サイクロントランスファーリッド（オプション）をご使用ください。

(注1)本機の電源スイッチにはブレーカー機能が内蔵されており、異常電流が流れると自動的にスイッチが切れます。スイッチが切れた時は異常の原因を取り除き再度スイッチを入れてください。
頻繁にスイッチが切れる場合は機械故障の可能性があるので、弊社に点検をご用命ください。

(注2)場合によっては本機の分解清掃が必要です。点検・修理をご用命ください。

9 アフターサービスについて

本機のアフターサービスは以下のように実施させていただきます。

１．本機には保証書を添付してあります。大切に保管してください。

２．保証期間は納入日より１年間です。

３．保証書の記載内容により弊社が修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。

４．保証書期間経過後の修理及びご不明な点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
なお、アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害す恐れがある為、修理はお受けできません。

保証書

型式名	
機械番号	
納入日	平成　　年　　月　　日
保証期間	１　　年
ご社名	
所属部署	
フリガナ ご担当者名	様
ご住所	〒
販売店名	,
販売店の住所	〒

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
上記保証期間内に取扱説明書、本体ラベルなどに従って正しく使用していて故障した場合にはお買い上げ販売店または弊社が無料修理いたします。

記

１．納入日から起算して満１年以内に製造上に起因する故障が生じた場合は無料で修理いたします。**但しアスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被爆した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害す恐れがある為、修理はお受けできません。**

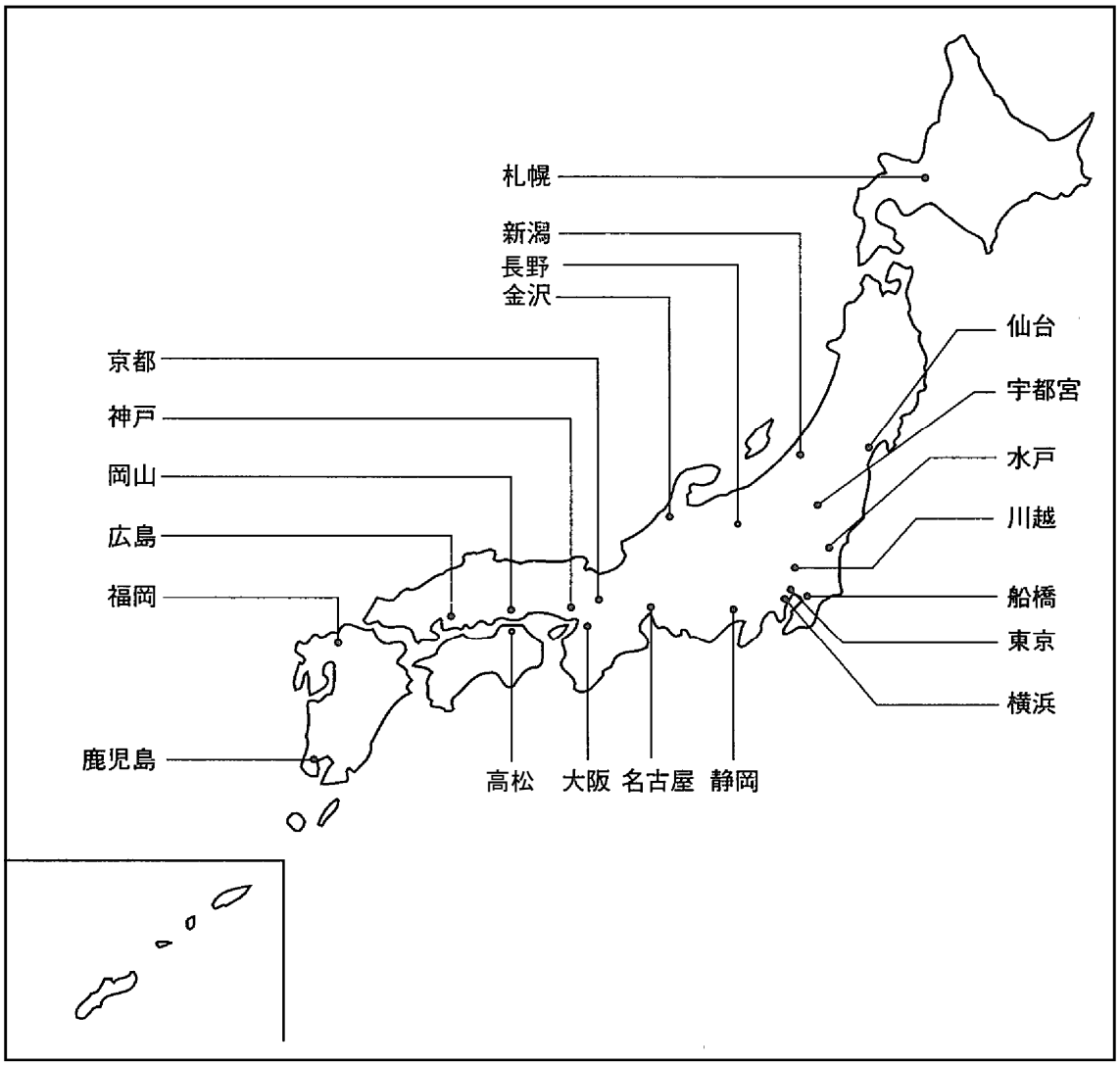
また、保証期間内でも次のような場合には有料修理させていただきます。

(A)使用上の誤り、弊社指定の販売店またはサービス店以外での改造や不適当な修理による故障または損傷。
(B)移動、輸送などによる故障または損傷。
(C)火災、地震、水害、落雷、凍結、その他の天災地変や異常水圧、異常水質、異常電圧などの外的要因、周波数違い、オイル交換、フィルター交換などの使用および保守管理の問題による故障または損傷。
(D)消耗品の消耗。
(E)本書の提示がない場合。

２．ご転居される場合には事前にお買い上げ販売店もしくは直接当社にご通知ください。
３．本保証は日本国内でご使用の場合に限り適用されます。
（This warranty is valid only in Japan.）
４．本証は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

蔵王産業株式会社
本社／東京都江東区毛利1-19-5　〒135-0001
電話／03(5600)0325
URL:http://www.zaohnet.co.jp/

全国に展開する蔵王産業の営業拠点



蔵王産業株式会社

広島営業所／〒733-0833
広島市西区商工センター6丁目4—14
Tel 082(277)5821　Fax 082(277)7434

販売元　CONSEC　株式会社コンセック

本社／〒733-0833　広島市西区商工センター４丁目６－８
TEL 082(277)5451 FAX 082(278)6389

●営業所	●代表電話	●FAX	郵番(〒)	●営業所	●代表電話	●FAX	郵番(〒)
札　幌／石狩市新港西1-714-2	0133(73)8411	8415	〒061-3241	金　沢／金沢市神野1-31	076(240)8311	7331	〒920-0368
仙　台／仙台市泉区明通4-5-7	022(378)8840	8335	〒981-3206	名古屋／春日井市味美白山町1-1-15	0568(31)6121	1971	〒486-0969
宇都宮／鹿沼市流通センター63	0289(76)1831	1837	〒322-0016	京　都／京都市山科区大塚野溝町20-1	075(594)6211	6551	〒607-8135
水　戸／水戸市小吹町西原3071-1	029(243)2571	2581	〒310-0914	大　阪／大阪市東成区深江北1-6-28	06(6971)8011	1300	〒537-0001
船　橋／船橋市潮見町36-4	047(434)0020	9018	〒273-0016	神　戸／神戸市須磨区弥栄台3-3-1	078(794)3101	3110	〒654-0161
川　越／川越市問屋町14-4	049(226)1130	1139	〒350-0856	岡　山／岡山市北区大内田769-5	086(292)5191	5196	〒701-0165
東　京／江東区毛利1-19-5	03(5600)0511	0519	〒135-0001	広　島／広島市西区商工センター6-4-14	082(277)5821	7434	〒733-0833
横　浜／横浜市戸塚区矢部町941-23	045(866)2221	2171	〒244-0002	高　松／高松市国分寺町新居字上向田1338-1	087(870)6721	6720	〒769-0101
長　野／東御市和1398-7 和ﾋﾞﾙ201	0268(64)6331	(62)-6051	〒389-0505				
新　潟／新潟市中央区姥ヶ山1-5-34	025(286)1811	1815	〒950-0923	福　岡／福岡市東区多の津2-5-4	092(621)6415	3560	〒813-0034
静　岡／静岡市駿河区下島275-1	054(238)0671	0235	〒422-8037	鹿児島／鹿児島市東谷山1-65-25	099(269)7021	7024	〒891-0113

◎ファックス：代表電話の市外局番、市内局番に続けてFAX番号をお廻しください